

九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

Studies in Chinese Literature

<http://hdl.handle.net/2324/9885>

出版情報：中国文学論集. 13, 1984-12-31. The Chinese Literature Association, Kyushu University
バージョン：
権利関係：



彙報

○講義題目（昭和五十八年度）

特研 中國文學の諸問題

講義 李白論

講義 北朝文學史考

演習 文選李善注

演習 白氏文集

演習 說文解字段注

講讀 好逑傳

演習 紅樓夢

演習 唐代傳奇

演習 宋詞

演習 現代小説研究

演習 漢語音韻學

中國語

中國語初歩

中國語

臨講 近世日本の漢詩文（徳島大學）

○卒業論文（昭和五十八年度）

清朝末期における西歐科學思想受容の特質——譚嗣同・津田眞道のエーテル論を中心——

心に——

中國の戲曲改革——傳統京劇の繼承問題について——

潘岳の詩賦とその閑歴

『六十家小説』に見る「話本」の體裁について

人物評語にみられる司馬遷の理想像——人間探究におけるその位置——

（附）史記列傳人物評語表

魚玄機の生涯とその作品

蔣子龍の作品と經歷

詩經の「興」について

傅玄の樂府と詩——その性格と作詩傾向——

吳偉業の長篇詩

高適の樂府詩について

（修士） 牧角 悦子

（學部） 大久保早和子

（學部） 下唐湊 律子

（學部） 原 篤

（學部） 安積由紀子

（學部） 伊藤 直子

（學部） 岩男 俊弘

（學部） 木元 睦夫

（學部） 小林 孝子

（學部） 中筋 健吉

（學部） 西原 曉子

詞文學の形成過程における花間集の位置——溫庭筠・韋莊を中

心として——

張潔の作品とその思想的背景をめぐって

めぐる

○中國文藝座談會

第八十六回（昭和五十八年五月十五日）

阮籍「詠懷詩」の反語表現にみる、

その脱俗のあり方について

五言詩の定着過程における新聲變曲の意義

の意義

第八十七回（九月二十五日）

清末民國初思想史における「西學」

受容の行程——譚嗣同・魯迅——

劉向と漢代の楚辭

第八十八回（十一月二十日）

李賀のイメージ表現

「馬氏文通」の文法體系——古代漢

語文法研究序説——

庚清韻贅説

（學部）東 英壽

（學部）與小田隆一

第八十九回（昭和五十九年一月二十九日）

航鷹——その光と影——

聊齋志異と蒲松齡

王維の自然詩の詩風について

○會員近著

林田愼之助

目加田 誠

上尾 龍介

松浦 崇

九州大學文學部

詠懷詩會（藤

井良雄主編）

『馬氏文通』

『西學』

『楚辭』

『魯迅』

『李賀』

『馬氏文通』

『庚清韻贅説』

『詠懷詩會』

『馬氏文通』

『西學』

『楚辭』

『魯迅』

『李賀』

『馬氏文通』

平田 順子

本村 久美

山崎 巧

中國の人と思想六『司馬遷——起死回

生を期す——』（集英社 昭和五十九

年五月）

『目加田誠著作集第七卷、杜甫の詩と

生涯』（龍溪書舎 昭和五十九年六月）

『留學生たちの日本』（九州大學出版

會 昭和五十九年七月）

『全漢詩索引』（權歌書房 昭和五十

九年十月）

九州大學文學部

詠懷詩會（藤

井良雄主編）

『詠懷詩會』

『馬氏文通』

『西學』

『楚辭』

『魯迅』

『李賀』

『馬氏文通』

『西學』

『楚辭』